

ハンガリーからバウハウスへ、そしてシカゴ・ニューバウハウスの設立へと、大陸を越えて 20 世紀モダニズムの造形思考を架橋したモホイ=ナジ[★]、日本初の大規模個展！

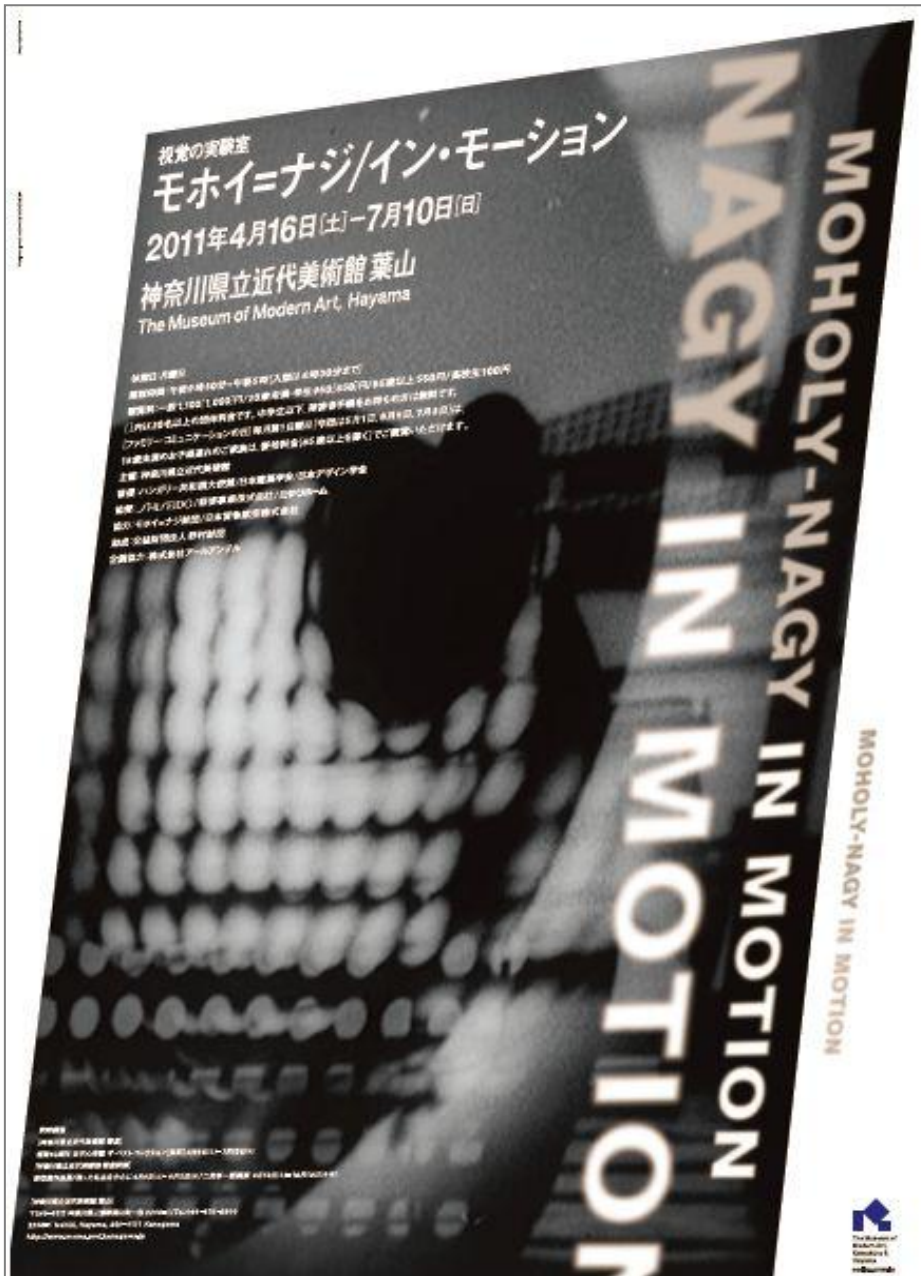
視覚の実験室
モホイ=ナジ/イン・モーション
MOHOLY-NAGY IN MOTION

2011年4月16日[土] - 7月10日[日]
神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama

休館日：月曜日 [ただし 5月2日は開館]

開館時間：午前9時30分 - 午後5時 (入館は4時30分まで)

観覧料：一般 1,100 (1,000) 円/20歳未満・学生 950 (850) 円/65歳以上 550 円/高校生 100 円
() 内は 20 名以上の団体料金です。中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。



主催：神奈川県立近代美術館
後援：ハンガリー共和国大使館/
日本建築学会/日本デザイン学会
協賛：JHI/EIDO / 郵便事業株式会社/
ミサワホーム
協力：モホイ=ナジ財団/
日本貨物航空株式会社
助成：公益財団法人 野村財団
企画協力：株式会社アールアンテル

[ファミリー・コミュニケーションの日]
毎月第1日曜日 (今回は5月1日、6月5日、7月3日) は、18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金 (65歳以上を除く) でご観覧いただけます。

★作家名について：欧米の主流である「ラースロー(名)・モホリ=ナギ(姓)」という従来の呼称に対し、本展ではモホイ=ナジの出自であるハンガリーの姓名順と発音に従って表記しています。

■プレスリリース及び展覧会情報は、美術館ホームページでもご覧頂けます。
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

[左] 展覧会ポスター (デザイン: 矢萩喜從郎)



1

20世紀美術に「新しい視覚（ニュー・ヴィジョン）」をもたらしたハンガリー出身の芸術家、モホイ＝ナジ・ラースロー（1895-1946）の全体像を紹介いたします。

構成主義の美術家・写真家、バウハウスの教師として知られるモホイ＝ナジは、20世紀前半の前衛芸術運動に参加して「光と運動による造形」という創作理念を確立し、ハンガリーからウィーンへ、そしてドイツ、オランダ、イギリスを経てアメリカへと、自らも世界の都市を移動しながら、多様な造形・教育活動を行いました。

絵画、写真、彫刻、映画、グラフィック・デザイン、舞台美術と多岐にわたる活動は、芸術と工業技術の関係性、情報伝達やコミュニケーションの問題といった、20世紀美術が直面した重要な課題を提示しています。伝統やジャンルにこだわらずに同時代の新しい素材や主題に取り組んだモホイ＝ナジの仕事は日本でも早くから紹介され、1930年代の新興写真運動をはじめ、瀧口修造との交流を通じて、戦後は「実験工房」の芸術家たちに大きな影響を与えました。

本展は、多数の貴重な未公開作品を含む遺族所蔵のコレクションを中心に、ハンガリー時代の絵画、キネティック彫刻の代表作《ライト・スペース・モデュレータ》、カメラを使わない写真技法「フォトグラム」、アメリカ時代のカラー写真など、国内外の美術館から集められた約300点の作品・資料によってモホイ＝ナジの仕事を展開する日本で最初の回顧展です。その多くが国内初公開となります。表現の可能性をいまなお新鮮に、未来に向けて訴えかけるモホイ＝ナジの世界を、ぜひご高覧ください。



2



3



4



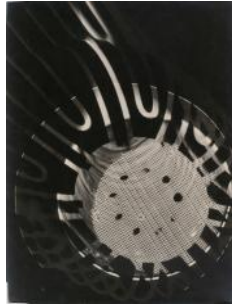
5



6



7



8

【画像キャプション】

1. モホイ＝ナジ・ラースロー 1926年頃(画像提供:ハトゥラ・モホイ＝ナジ)
2. 《風景》1918年 ハトゥラ・モホイ＝ナジ・コレクション
3. [無題](版画集『ケストナーマップ6:構成』より) 1923年 富士ゼロックス株式会社
4. 《A19》1927年 ハトゥラ・モホイ＝ナジ・コレクション
5. 『材料から建築へ』(バウハウス叢書14巻) 1929年 ミサワホーム株式会社
6. 《ファン(街)》1929年 東京都写真美術館
7. 《ラップラント婦人(フィンランド)》1930年 東京都写真美術館
8. [無題](フォトグラム fgm132) 1925/29年 東京都写真美術館

All Rights Reserved, Copyright © Hattula Moholy-Nagy

【関連企画】

■対談「モホイ＝ナジを語る」

講師：アンドレアス・ハグ氏（モホイ＝ナジ財団理事長）

聞き手：井口壽乃氏（本展監修者、埼玉大学教授）

4月16日(土) 午後1時 - 2時

会場：神奈川県立近代美術館 葉山 講堂

定員80名(当日先着順) 通訳あり 無料

■ゲスト・ギャラリートーク

講師：前田富士男氏（慶應義塾大学名誉教授）

6月26日(日) 午後3時から

申込不要、無料（観覧券が必要です）

■担当学芸員によるギャラリートーク

4月29日(金/祝)、5月5日(木/祝)、6月18日(土)

いずれも午後3時から

申込不要、無料（観覧券が必要です）

■先生のための特別鑑賞の時間

6月26日(日) 午前10時 - 12時（要申込）

その他の関連企画につきましては当館のHPをご覧ください。

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

■お問合せ先

神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1

tel. 046-875-2800 / fax. 046-875-2968

広報担当：土居、平井

展覧会担当：三本松、水沢、西澤